行き詰まりの内政・外交

元財務相、元民主党顧問
藤井裕久さん

安倍晋三首相が病気で辞任しました。ご本人はさぞ残念でしょう。ですが本質的には、内政・外交ともに行き詰まっていたからだと思います。

私は常々「命がけで安倍政権を倒す」と言ってきました。その意味では、安倍政権が終えんを迎えたことは率直に言って「よかった」と思っています。これからは「安倍亜流」政治を許さず、野党が結束して政権交代を実現することです。

安倍さんは7年8カ月、どんな政策を進めてきたのか。「憲法改正」では、9条に自衛隊を書きこもうとしました。これは〝軍人政治〟を復活することになります。

集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈と安保法制で、世界の果てまで自衛隊がいくことができる仕組みをつくりました。

私は「再び、日本を戦争する国にしようというのか」と安倍首相を批判してきました。戦争体験者として絶対に許すことができないからです。

野党共闘しっかり進め転換を

元財務相、元民主党顧問
藤井 裕久さん

1面のつづき

安倍首相は、思想の統制にも手をつけました。特定秘密保護法、共謀罪は、国民の自由を制約するもので許せません。

「アベノミクスは成功した」と言っている人がいます。しかし、日本の円の通貨価値を弱くして、「成功した」などとは言えません。働く人も若者や女性では非正規が多数になってしまった。

いま一番対応が求められるコロナ対策はどうか。休業補償や医療支援は十分されず、「アベノマスク」や「GoToキャンペーン」…。遅いうえに的外れです。

何よりも、安倍さん自身の疑惑が大きい。「森友・加計」「桜を見る会」疑惑は、まさに「政治の私物化」です。安倍さんの妻は森友学園の小学校の名誉校長をやっていたのでしょう。

「私や妻が関係していたら総理も国会議員も辞めますよ」と国会で大見えを切りましたよね。それなのに辞めていません。

公文書の改ざんを強要された近畿財務局の職員が自殺しています。公文書は「歴史」です。「歴史」の書き換えをさせた。私は絶対に許すことができません。

「桜を見る会」。私が大臣の時も「推薦」の枠はありました。国や社会のために役立っている人だけをちゃんと推薦しました。自分の後援会を「ご招待」したのは安倍さんだけです。

今回の安倍さんの辞意表明は、八方ふさがりのなかで、どうにもならなくなったからです。

安倍政権がこんな事態となった背景には、長期政権の「おごり」があります。

同時に、安倍さんの歴史観、国家観は基本的に間違っています。安倍さんは、立憲主義を理解していません。立憲主義とは、憲法が国家権力を縛るという考えです。基本に国民主権があります。権力者が勝手に、憲法の解釈を変えた「安保法制」にゆがみの原点があります。

いま総裁選で名前の挙がっている人が首相になっても、「安倍政治」が相変わらず続いていくでしょう。安倍政治を支えてきた人たちだからです。

これを変えることができるのは野党の共闘です。立憲民主党も国民民主党も合流し、野党の大きな塊をつくることになりました。共産党や市民団体としっかり協力して、「安倍政治」を大きく転換していくことを願っています。

「赤旗」がおもしろい

日刊　月3497円（本体価格3238円）
日曜版　月 930円（本体価格 861円）

しんぶん赤旗

ひらく

総選挙で安倍政治に決着つけよう

日曜版「桜」報道にＪＣＪ大賞

安倍晋三首相の辞任で、新しい激動的な時代が始まりました。しかし自民党総裁選では、「安倍政治」礼賛の大合唱。志位和夫委員長は、安倍政治との決着は総選挙でつけよう、と訴えます。同志社大学教授の浜矩子さん、法政大学教授の山口二郎さんが、野党の共闘で政権交代実現をなどと語ります。

日曜版の「桜を見る会」疑惑スクープが、「国政、メディアに大きなインパクトを与えた」として2020年のＪＣＪ大賞を受賞しました。法政大学の上西充子教授がその意義などを語ります。

作家の中脇初枝さんが、絵本『つるかめ　つるかめ』を出版しました。

外環道の事業費が当初の1.8倍、約2.4兆円に膨張しています。その裏で、国が大手ゼネコン鹿島に特別な便宜を…。スクープです。

初動が遅れコロナ感染の主要国となった英国。方針転換で検査を拡充し感染者が減っています。

日曜版13日号

「健康らいふ」は新型コロナ流行下での避難所の換気です。

陸上短距離メダリストの末続慎吾さんが、第一線の選手にエールを送ります。

東京都が開示した新型コロナ感染症の「発生届」。感染報告日まで真っ黒な「のり弁」でした。政治的思惑で「東京アラート」を解除した疑いが深まります。

「ひと」は俳優、創作あーちすとの、のんさん。

未来

黒田みち

TEL 090-9987-7909

ブログ たんぽぽだより
黒田みち

日本共産党

吉田文子の
今晩のおかず

■ちくわで2種

手軽で便利なちくわ料理。今年はオクラを詰めるのがお気に入り。太さ1.5㌢以下のオクラで作ります。ツナマヨは缶１つ分で作り、残りをパンにのせたりしても便利です。

◆作り方　①オクラはかためにゆで、先端の細い部分を１㌢ほど切って１本を半分に切り、２本のちくわに、オクラ１本半ずつ詰め、４等分してお皿に盛る。

◆材料（２人分）
ちくわ（小）４本（120㌘）／オクラ３本／ツナ缶½缶（35㌘）／タマネギみじん切り大さじ１／マヨネーズ大さじ１
＝計310円

②ツナ缶の油を切り、タマネギみじん切り（辛味が強ければ水にさらしてしぼる）、マヨネーズをまぜる。

③ちくわ２本は縦２つに切り、長さを３等分にし、穴部分が上になるようお皿に並べ、②のツナマヨをのせる。

（１人分133キロカロリー、塩分1.5㌘）